

令和4年度 岡山県支部 5月例会 講演会の報告

ランデス株式会社 五百蔵 賛
修習技術者（建設部門）



1. 開催概要

- (1) 主催 公益社団法人 日本技術士会 中国本部 岡山県支部
共催 一般社団法人 岡山県建築士会 岡山支部
- (2) 日時 令和4年5月14日（土） 13:30～17:00
- (3) 場所 杜の街グレース オフィススクエア 3階会議室
- (4) プログラム
 - 1) 開会挨拶 13:30～13:35
岡山県建築士会 見手倉 幸己 常務理事
 - 2) 講演会 13:35～15:05
 - ・講演1
演題 「働きにくい？製造業で働く女性技術士の今」
講師 小野 朋子 氏 [(株)エイチ・エス・ピー]
 - ・講演2
演題 「自分らしく生きる」
講師 大瀧 珠乃 氏 [アトリエ珠 一級建築士事務所]
 - 3) 「働き方改革」について話し合う 15:20～16:40
(各テーブル全員参加型 ワークショップ)
 - 4) 閉会挨拶 16:45～16:50
岡山県技術士会 田邊 信男 支部長
- (5) 参加者
技術士会 24名、建築士会 10名



会場の風景

2. 講演内容1 「働きにくい？製造業で働く女性技術士の今」

高校時代から生物に興味があり、豊島（香川県）の産業廃棄物問題などについてフィールドワークを行い、大学で生態環境工学を学び、卒業後に今の勤務先であるエイチ・エス・ピーに技術職として入社し、スーパー次亜塩素酸の研究に携わるまでの経歴をご紹介頂きました。

岡山県の製造業について事業者数、常用従業者数、製造品出荷額などを調査すると繊維工業、食料品製造業、石油石炭製品製造業などが上位を占めるが、これらの業種における女性従者比率は全国的に見ても低い水準であることをご説明頂きました。

小野氏の勤務する会社では女性の働きやすい環境をつくるため①産休・育休制度の導入②女性社員チームによるランチミーティングや商品開発③若手女性社員の積極的採用などを実施しており、新型コロナ蔓延もきっかけとなり誰がいつ休んでも仕事が回る体制づくり、休みがとりやすい雰囲気づくりが進んでいるとご紹介頂きました。

技術士として岡山理科大学との連携や女性技術者交流会などを通じて様々な年代の女性技術者と交流を図り、「当たり前は常に変わっていく」の思いで制度改革、技術改革を行って行くことが重要である、との強いお言葉を頂きました。

3. 講演内容2 「自分らしく生きる」

美術大学を卒業後に様々な職業を経験したが、ある知人から「大瀧さんの性格は建築士に向いている」と言われたことがきっかけで建築士の道を歩み始め、倉敷の建築設計事務所に入社するまでの経歴をご紹介頂きました。

その事務所で10年程度学ぼうちに独立したい思いが強くなり、星野仙一氏が残した「迷ったら前へ進め」という言葉を胸に独立を決意されたとお話を頂きました。

独立して最初にお仕事をした施主様は、奥様のために良い家を建てたいという思いが強い方で、資材選定やモデルハウス見学など何度もご一緒し、納得のいく家を造り上げたとご紹介頂きました。その時の家は今でも大瀧氏の代表作と言えるものになったそうです。その後リフォーム事業などにも積極的に参入することで、「劇的ビフォーアフター」からも声が掛かるようになったとご紹介頂きました。「ともにはぐくむ家づくり」をモットーに、家族に寄り添う建築を今後も続けていきたいと考えているとお言葉を頂きました。



講師：小野 朋子 氏



講師：大瀧 珠乃 氏

4. 「働き方改革」について話し合う

参加者を4グループに分け、課題を抽出した上で対策を検討しました。各グループで女性雇用問題、業務の効率化など様々な議論を行い、その内容を各グループの代表者が3分程度で発表し終了となりました。



ワークショップの様子

5. おわりに

平成30年から継続している建築士会との合同例会でしたが、新型コロナの影響もあり3年ぶりの開催となりました。まだ感染状況が落ち着いていないため懇親会は開催できませんでしたが、まさにこの状況下で迅速な対応が求められる「働き方改革」について有意義な意見交換ができました。異業種との交流は大きな刺激となるため、今後も継続して開催できるよう努力してまいります。



記念撮影（※撮影時のみマスクを外しています）